

学校沿革

1888年 5月 ● 済々黉附属女学校として熊本市昇町に開校、創立者佐々友房、初代校長内藤儀十郎、校舎31坪生徒数23名
(明治21年)

1889年 5月 ● 昭憲皇太后から「ひらけゆくまなひの窓のはなさくら 世に匂ふへきはるをこそまで」の御歌を女子教育奨励の意味をもって下賜される
(明治22年)

1891年10月 ● 済々黉から独立して尚綱女学校と改称
(明治24年)

1920年11月 ● 飽託郡大江村九品寺(現在地)に移転
(大正9年)

1928年11月 ● 尚綱中学・高等学校の制服を制定
(昭和3年)

1929年 4月 ● 尚綱五ヶ条制定
(昭和4年)

1931年11月 ● 県下女学校の代表校として天皇の行幸を迎える
(昭和6年)

1940年10月 ● 尚綱中学・高等学校の校旗を制定
(昭和15年)

1947年 4月 ● 学制改革によって尚綱中学校発足
(昭和22年)

1948年 4月 ● 新制の尚綱高等学校となる
(昭和23年)

1952年 4月 ● 熊本女子短期大学開学、家政科を設置
(昭和27年)

1960年 6月 ● 創立70周年記念事業として体育館落成
(昭和35年)

1967年 4月 ● 熊本女子短期大学家政科を家政科家政専攻と家政科食物栄養専攻に分離
(昭和42年)

1968年 4月 ● 熊本女子短期大学幼児教育科を清水校地(現:武蔵ヶ丘キャンパス)に設置
(昭和43年)

1969年 4月 ● 熊本女子短期大学付属幼稚園開園
(昭和44年)



創立者 佐々友房



初代校長 内藤儀十郎



本校旧校舎



制服制定



昭和天皇行幸



体育館



清水校地(現:武蔵ヶ丘キャンパス)

1975年 4月 ● 尚綱大学開学、文学部(国文学科・英文学科)を設置、熊本女子短期大学を尚綱短期大学と改称
(昭和50年)

1985年 5月 ● 第36回全国植樹祭時、阿蘇野草園にて昭和天皇の御前で尚綱高校マンドリンクラブが「はなしのぶの歌」を演奏
(昭和60年)



尚綱高校マンドリンクラブ

1985年12月 ● 昭和天皇から「はなしのぶの歌しみじみ聞きて生徒らの心は花の如くあれと祈る」の御製を下賜される
(昭和60年)

1988年 4月 ● 尚綱高等学校管理棟(九品寺校地)落成
(昭和63年)



高等学校管理棟(現:中高1号館)



創立100周年記念式典

1988年 5月 ● 学園創立100周年記念式典挙行
(昭和63年)

2000年 4月 ● 尚綱短期大学子育て研究センター設置
(平成12年)

2005年 3月 ● 附属幼稚園園舎竣工
(平成17年)



附属幼稚園園舎



尚綱大学九品寺1号館

2006年 3月 ● 尚綱大学九品寺1号館竣工
(平成18年)

2006年 4月 ● 尚綱大学生生活科学部栄養科学科設置
文学部国文学科及び英文学科を文化言語学部文化言語学科に改組
尚綱短期大学を尚綱大学短期大学部、
幼児教育科を幼児教育学科と改称
家政科を総合生活学科と食物栄養学科に改組
(平成18年)

2011年 4月 ● 中高一貫教育開始
(平成23年)

2011年12月 ● 尚綱中高校2号館竣工、尚綱学舎竣工
(平成23年)



尚綱中高校2号館



尚綱学舎

2012年12月 ● 尚綱アリーナ竣工
(平成24年)



尚綱アリーナ

2013年 1月 ● 尚綱学園ロゴマークを制定
(平成25年)



SHOKEI